

令和4年度 中・四国各県の研修会【報告】

【徳島】県

研修会名称	第67回徳島県小学校体育指導者講習会
期 日	令和4年7月29日(金)
会 場	徳島市八万小学校を本部にZOOMにて開催
内 容	<p>8:30 ~ 9:00 受付・接続確認</p> <p>9:00 ~ 9:15 開講式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開式の言葉 ・会長挨拶 ・日程説明, 諸連絡 <p>9:15 ~ 10:00 講演 日本大学 教授 鈴木 理 先生 「ゆるい」けど「堅い」体育授業 ～カタチから入らない教育実践～</p> <p>10:00 ~ 10:10 休憩</p> <p>10:10 ~ 10:40 グループ討議</p> <p>10:45 ~ 11:30 全体協議</p> <p>11:30 ~ 11:45 閉講式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事講評 ・閉式の言葉 ・諸連絡 ・アンケート, 解散
報 告	<p>本年度は、コロナ禍での実施ということで、昨年に引き続きZOOMによるオンライン研修となった。日本大学より鈴木理先生に参加していただき、「『ゆるい』けど『堅い』体育授業～カタチから入らない教育実践～」という演題で、講演・協議が行われた。今回は、県外からの参加もあり、講師・役員等も含めて、136名の参加があった。</p> <p>講演では、鈴木先生より、体育授業の学び方について話をいただいた。試合(試し合い)を基調とするスポーツにおいて、子どもは授業の中で、運動の実践に現われる「課題」を解決するための「方法」を見つけていく。そして、その方法にどんな値打ち(意味や価値)があるのかを理解していくことで、それを知恵として活用することができるという内容であった。また、試し合いとは、「動きづくり」と「関係づくり」に分けられるという話をいただいた。グループ討議では、「動きづくり」の中からもリレーの授業デザインを考えた。100m走の世界記録を4倍したタイムよりも、400mリレーのタイムの方が速いという気づきを出発点として、5～6人のグループ(ZOOMのブレイクアウトルーム)に分かれ、話し合う時間をとった。指導内容の中核、指導内容に迫るための教材づくり、学習成果の見取り、学習の振り返りという4つの視点を用意していただいたことで、様々な意見交換が行われた。全体協議では、グループ討議で出てきた内容をもとに、鈴木先生が整理してまとめてくださった。「学ぶ」とは、お決まりの「やり方」を記憶することではなく、自分の体と他者(人や物)との間に結ばれる「関係」を見通し、うまく付き合っていけるようになることだと教えていただいた。徳島県が体育学習を通してめざしていく子どもの学びと重なる部分も多く、県内外の先生とも授業づくりの考え方を共有することができ、オンラインの形ならではの充実した研修となった。</p>

